

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	那須の郷高館まつり事業【中止】	総事業費	0	1,570,000	1,570,000	1,099,000	1,099,000	5,338,000
		うち市町支出額	0	1,000,000	1,000,000	0	0	2,000,000
		うち県交付金	0	500,000	500,000	0	0	1,000,000
2	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業	総事業費	1,350,913	1,340,000	1,340,000	938,000	938,000	5,906,913
		うち市町支出額	843,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,843,000
		うち県交付金	421,500	500,000	500,000	0	0	1,421,500
3	夢のある里づくり事業	総事業費	1,248,538	1,176,000	1,176,000	823,200	823,200	5,246,938
		うち市町支出額	882,000	882,000	882,000	0	0	2,646,000
		うち県交付金	441,000	441,000	441,000	0	0	1,323,000
4	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業	総事業費	1,498,008	1,350,000	1,350,000	945,000	945,000	6,088,008
		うち市町支出額	797,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,797,000
		うち県交付金	398,500	500,000	500,000	0	0	1,398,500
5	雲巖寺周辺地域活性化事業	総事業費	1,111,000	1,031,000	1,031,000	721,700	721,700	4,616,400
		うち市町支出額	750,000	750,000	750,000	0	0	2,250,000
		うち県交付金	375,000	375,000	375,000	0	0	1,125,000
6	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業	総事業費	609,004	1,645,000	1,645,000	1,151,500	1,151,500	6,202,004
		うち市町支出額	346,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,346,000
		うち県交付金	173,000	500,000	500,000	0	0	1,173,000
7	2021年おおたわら丘ポタ&激ポタ	総事業費	2,653,501	3,700,000	3,700,000	2,590,000	2,590,000	15,233,501
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
8	地元再発見!生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP~大田原ファン&サポーター大募集~事業	総事業費	927,071	1,066,000	1,066,000	746,200	746,200	4,551,471
		うち市町支出額	695,000	799,000	799,000	0	0	2,293,000
		うち県交付金	347,500	399,500	399,500	0	0	1,146,500
9	湯津上地区天狗王国まつり実施事業	総事業費	3,590,586	5,300,000	5,300,000	5,300,000	5,300,000	24,790,586
		うち市町支出額	3,150,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	16,950,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
10	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業	総事業費	1,950,859	2,761,000	2,761,000	2,761,000	2,761,000	12,994,859
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
市町計		総事業費	14,939,480	20,939,000	20,939,000	17,075,600	17,075,600	90,968,680
		うち市町支出額	9,463,000	11,881,000	11,881,000	4,450,000	4,450,000	42,125,000
		うち県交付金	4,156,500	5,215,500	5,215,500	0	0	14,587,500

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那須の郷高館まつり事業【中止】
事業主体の名称	那須の郷高館活性化ネットワーク
代表者の名称	高崎 眞美
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内1226-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:市内北部の両郷周辺地域の活性化</li> <li>・設立年月日:平成25年4月1日</li> <li>・構成員等: 地区住民約50人(有機的、かつ総合的に活動しているメンバーがその中心的役割を担う)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	両郷地区は、市内でも高齢化・過疎化が進んだ地区であるが、里山の豊かな自然に囲まれ、県内でも有数の農畜産物を産出する肥沃な教育地帯や那須与一宗隆公が居城したと伝えられる高館城址「黒羽藩」があるほか、郷土芸能(獅子舞、ささら、神楽、雅楽、太鼓)が盛んであった地区である。そのため、これらを活用して地域活性化を図るべく、平成20年から「那須の郷 高館まつり」を10回開催し地域の住民がお互いに文化芸術を情報発信するなど、自主的なつながりが生まれつつある。しかし、地域を大切に思い地域を支える人材、特に次世代を担う人材が減少していることから、いかにして人材を確保・育成し、外から人を呼び込んでいくかが課題となっている。
事業目的	里山の自然や地域産業・農産物を生かしながら、郷土芸能・伝統行事を継承することにより、地区の子どもの郷土愛を醸成し、地域住民同士の交流を促進するとともに、地区外の人(特に若者)に興味をもってもらうことで、交流のきっかけ、ひいては移住及び関係人口創出を目指す。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獅子舞、ささら、神楽、雅楽等の郷土芸能や民間伝承等の調査・研究・記録</li> </ul> <p>②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高館まつりの開催(開催時期・場所: 11月上旬・大田原市芸術文化研究所)</li> <li>・郷土芸能の披露、よさこい、キッズダンス、芸術文化研究所作品展、彫刻制作等</li> <li>・参加者による農業体験・芸術のワークショップ</li> <li>・小学生による「農民道全一太鼓」の演奏等への協力</li> <li>・那須野が原国際芸術シンポジウムとの連携、高館まつりでの作品展示</li> </ul> <p>祭り参加者に対し、農業体験や芸術のワークショップを行い、実際に祭りを作り上げる一人として、地域の魅力を感じてもらうことで、今後も継続して地域と関わりを持ってもらうとともに、地域づくりの担い手としての育成を目指す。周知はSNS等を通じて広く地域外まで行い、地域外からの呼び込みを狙う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業中止</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の事業の評価を踏まえて、上記①～②を継続し、地域の魅力を一層高める。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ③高館まつり	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ③高館まつり	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ③高館まつり		①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ③高館まつり
事業費	0	1,570,000	1,570,000	3,140,000	1,099,000
市町支出金 (ソフト事業分)	0	1,000,000	1,000,000	2,000,000	0
うち県交付金	0	500,000	500,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	570,000	570,000	1,140,000	1,099,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須の郷高館まつり事業【中止】	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	0	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
地域協賛	0	
祝金	0	来賓祝金
売上	0	
計	0	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	0			0	出演者謝礼
消耗品費	0	0	0	0	事務用品、まつり消耗品(封筒作成用材料等)
食糧費	0			0	飲料、昼食、食材費
印刷製本費	0	0	0	0	チラシ・ポスター印刷、写真現像
通信運搬費	0	0	0	0	切手、ハガキ(事業案内通知用)
手数料	0			0	振込手数料
保険料	0			0	傷害保険、賠償責任保険
委託料	0	0	0	0	警備業務、HP管理
使用料及び賃借料	0	0	0	0	まつり物品運搬用車両賃借、備品(簡易トイレ等)賃借
備品購入費	0	0	0	0	テーブル・椅子
計	0	0	0	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業
事業主体の名称	金丸地区活性化協議会
代表者の名称	新江 章平
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 総合文化会館2F(大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	・団体の目的: 地域の住民、大学生、団体などを巻き込みながら、金丸地区内の自然や文化資源を活かしたイベントやボランティア活動を通して、観光地化し、交流人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年4月1日 ・構成員等: 金丸地区を中心とする住民や団体、学生等のボランティア
当該事業に係る地域の現状と課題	本協議会は、歴史や自然、文化的な地域資源があるにもかかわらず、地区の住民でさえそのことを知らない状況があったため、平成26年に国重要文化財である那須神社でジャズライブを開催するなどして、地域資源の価値を再認識してもらった活動を行ってきた。これにより、地域の価値を見いだす住民が徐々に増えてきているが、まだまだ地域資源の価値の認知度が低く、また、それぞれが連携して取り組む活動がない状況にある。今後、どのようにすれば住民同士が相互に協力し、連携しあうことができるか検討していくとともに、歴史文化の継承や地域資源の保全等、後継者の育成や新たな担い手の確保が課題となっている。
事業目的	地区の住民自身が、地域の歴史、自然、文化の価値に気づき、積極的にイベントやガイド養成等の多様な仕掛け、継続的に地域資源の情報発信に取り組むことにより、交流人口・関係人口の創出を図るとともに、地域づくりの担い手を発掘、育成することを目的とする。これらについては、地域内にとどまらず、広く市外への事業周知、参加協力を求め、地域外からの地域の担い手の発掘を目指す。
事業概要	【令和3年度】 ①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催(7月3日) ・近隣市町の菊愛好家と菊の栽培方法やイベントの相互出展について情報交換を行った。 ②菊栽培講習会の開催(7月3日) ・講習会を開催し、菊栽培の魅力を感じてもらった。情報交換会・交流会でのコミュニティを通じて、広く市外へ事業周知を行い、地域外からの地域づくりの担い手の発掘を目指した。 ③菊祭りイベントin那須神社2021の開催(11月14日) ・大田原市の花「菊」への理解、金丸地域の歴史・文化への理解を深めてもらうブース出展の他、大田原グルメ祭りを開催し、地域の発展と活性化を図る。情報交換会・交流会でのコミュニティを通じて、市外団体へ出展依頼し、共にイベントを作り上げるだけでなく、今後も継続した関係性を構築した。 ④永代々神楽・太々神楽(開催中止) ・令和4年3月に開催を予定し準備していたが、まん延防止等重点措置指定のためやむを得ず開催を中止した。 【令和4年度】 ・前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽		①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽
事業費	1,350,913	1,340,000	1,340,000	4,030,913	938,000
市町支出金(ソフト事業分)	843,000	1,000,000	1,000,000	2,843,000	0
うち県交付金	421,500	500,000	500,000	1,421,500	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	507,913	340,000	340,000	1,187,913	938,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	843,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
イベント販売売上	187,030	イベント売上
前年度繰越金	76,802	
雑収入	120,001	協賛金・利息
自己資金	124,080	
計	1,350,913	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	15,000	11,200	5,600	3,800	講師謝金
消耗品費	30,061	22,400	11,200	7,661	イベント・講習会消耗品
食糧費	94,266			94,266	講師弁当代
印刷製本費	208,670	156,500	78,250	52,170	講習会チラシ印刷代
通信運搬費	3,276	2,400	1,200	876	案内ハガキ郵送代
手数料	2,530	1,000	500	1,530	振込手数料
保険料	3,360			3,360	傷害保険料
委託料	638,000	478,500	239,250	159,500	警備業務委託・HP管理業務委託
使用料及び賃借料	355,750	171,000	85,500	184,750	テント・音響設備賃借料
計	1,350,913	843,000	421,500	507,913	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

**栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)**  
**【単独事業】**

市町名	大田原市
事業名	夢のある里づくり事業
事業主体の名称	大田原龍城せせらぎの舞実行委員会
代表者の名称	五月女 昌巳
事業主体の所在	〒324-0063 大田原市町島341
事業主体の概要	・団体の目的: 伝統文化・芸能の周知と伝承及び友好関係都市との交流 ・設立年月日: 平成27年6月28日 ・構成員等: 関係自治会長、土地改良区維持管理委員会、駐在所、地元企業、那須赤十字病院等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原小学校の学区は、蛇尾川で東西に分断されているという地理的条件から地域住民の交流が希薄になっている。地域に伝わる伝統芸能を通じて、地域住民の交流・連携を促進するとともに、伝統芸能の継承のため、当該地域のみならず、市内全域に活動を広げ、地域外からも積極的に担い手を確保することが必要となっている。
事業目的	伝統芸能と触れ合うイベントを開催することにより、地域住民が自分たちの住む地域の価値を見直し、さらなる地域住民の一体感を醸成する。また、地域外からも参加を募り、伝統芸能を体験してもらうことで、伝統芸能の継承、関係人口の創出を目指す。
事業概要	<p>【令和3年度】            おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催            日時: 令和4年3月12日 場所: 佐久山地区「正浄寺」特設ステージ            ・的当て大会、火入れ式、能楽体験、抹茶接待、能奉行、狂言等            ・日本の伝統文化を通して地域の活性化を図る。狂言や能など見てもらうだけでなく、外部講師(伝統文化学識者)を招き地元継承者とともに体験教室を実施し事業の運営に協力いただき、今後も本事業を通じた関係人口の創出を図った。今回、会場を新たに佐久山地区の紅葉の映える「正浄寺」で開催することで、地域外及び紅葉を目的とした観光客等にも体験教室に参加して、地域の伝統文化に触れてもらった。</p> <p>【令和4年度】            ・前年度の事業の評価検討したうえで、伝統芸能の継承、関係人口の創出・拡大の向上を目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」            (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)            【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催		おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催
事業費	1,248,538	1,176,000	1,176,000	3,600,538	823,200
市町支出金 (ソフト事業分)	882,000	882,000	882,000	2,646,000	0
うち県交付金	441,000	441,000	441,000	1,323,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	366,538	294,000	294,000	954,538	823,200

## 市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	夢のある里づくり事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	882,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
協賛金	350,000	
繰越金	16,536	
雑収入	2	預金利息
計	1,248,538	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	740,000	555,000	277,500	185,000	狂言・能舞台出演者謝礼
旅費	168,900	120,000	60,000	48,900	狂言・能舞台出演者謝礼
消耗品費	16,390	12,000	6,000	4,390	コロナ感染防止対策用消耗品
食糧費	26,000			26,000	出演者・スタッフ等弁当等
印刷製本費	86,745	65,000	32,500	21,745	チラシ印刷
手数料	1,430	1,000	500	430	振込手数料
保険料	5,000	3,000	1,500	2,000	傷害保険料
委託料	89,400	60,000	30,000	29,400	舞台設営、照明、写真撮影等
使用料及び賃借料	90,000	66,000	33,000	24,000	音響、舞台、椅子、会場
繰越金	24,673			24,673	
計	1,248,538	882,000	441,000	366,538	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業
事業主体の名称	金丸菊の会
代表者の名称	戸村 聖一
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 (株式会社大田原ソーリズム内)
事業主体の概要	・団体の目的:金丸地区を中心とした地域で、歴史的に伝統文化である菊を地域の住民、学校、団体などと一緒に復活させ、イベント時の作品の提供や菊づくりの栽培指導のボランティア活動を通じて、伝統文化を継承していくことで、地域活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日:平成28年4月1日(平成28年度は部会。正式な単独の会としてはH29年4月から) ・構成員等:金丸を中心とする住民や団体、学校等のボランティア
当該事業に係る地域の現状と課題	金丸地区には国指定重要文化財である那須神社があり、その神社と繋がりをもって伝統的に菊栽培と菊のお祭りが開催されてきた。しかし現在は菊栽培を行う農家も少なくなり、衰退してしまい、祭りでも地元の菊を見ることはなくなった。歴史的に物語があり、伝統もあるこの菊の復活を地域内でも望んでいる。今後、この伝統文化を継承するため、地域内外から地域づくりの担い手を確保することが課題となっている。
事業目的	衰退していた菊の栽培にもかかわらず、金丸地区活性化協議会によるお祭りの復活や地域活性の取組で、この菊部会が平成28年に立ちあがり、人数も20名を超える程に増え、一つの団体として活動しはじめた。今後の活動として、金丸地区だけにとどまらず広く大田原市全域への菊の普及を通して、伝統文化の継承と地域の活性化を行うことを目的とする。また、伝統文化の継承にあたっては、地域内外を問わず多くの担い手を確保する。
事業概要	【令和3年度】 ①菊づくりの人材育成と菊栽培(通年:勉強会や栽培指導) ・菊づくりの勉強会や栽培指導を行う。開催通知を作成し積極的な広報活動を行い、対象を地域外まで広げることで、菊づくりを通じて、地域外からの地域づくりの担い手確保を目指す。 ②学校での菊栽培の指導を実施(5月8日、5月29日、6月1日、7月10日、7月14日、7月20日、7月26日、10月12日、10月15日) ・小中学校の生徒に対し菊栽培の指導・支援を行った。生徒の作品を積極的に展示し、菊の魅力を感じてもらうことで、伝統文化を継承することを目指した。 ③菊花展への出席 ・開催時期:11月3日～11月14日 ・開催場所:那須神社 ・地域外(さくら市・那須塩原市)から展示を促し、菊花を通じて、地域への継続的な関りを構築した。また、栽培指導した小中学生の作品を展示した。 【令和4年度】 ・前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展の開催	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展の開催	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展の開催		①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展の開催
事業費	1,498,008	1,350,000	1,350,000	4,198,008	945,000
市町支出金(ソフト事業分)	797,000	1,000,000	1,000,000	2,797,000	0
うち県交付金	398,500	500,000	500,000	1,398,500	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	701,008	350,000	350,000	1,401,008	945,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp



## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	797,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
販売売上	413,350	展示会時の菊販売
繰越金	71,864	
雑収入	26,937	菊栽培指導謝礼金
自己資金	188,857	
計	1,498,008	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	330,400			330,400	
消耗品費	700,208	525,156	262,578	175,052	鉢、腐葉土、苗
食糧費	85,070			85,070	飲食代
印刷製本費	5,000	3,750	1,875	1,250	案内通知はがき印刷代
手数料	1,430	1,070	535	360	振込手数料
委託料	303,000	227,250	113,625	75,750	花壇整備、コロナ対策業務 (ガイドライン作成・勉強会実施・会場の感染症対策)等
使用料及び賃借料	53,100	39,774	19,887	13,326	運搬車両レンタル
備品購入費	19,800			19,800	菊花展備品購入
計	1,498,008	797,000	398,500	701,008	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	雲巖寺周辺地域活性化事業
事業主体の名称	やみぞあづまっぺ協議会
代表者の名称	鈴木 一利
事業主体の所在	〒324-0213 大田原市雲岩寺60
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:地区住民が明るく元氣よく暮らせ、地域の本物を発見発掘し後世につなぐこと。</li> <li>・設立年月日:平成24年4月</li> <li>・構成員等:地域住民及び地域の活動に賛同していただける方</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	雲岩寺地域は大田原市の北東部に位置し、中心市街地より30km以上離れた地域であり、少子高齢化が顕著に進んでいる。「雲巖寺」という歴史のある由緒正しき寺院が建立されており、近年の歴史探究ブーム等により当寺院へ訪れる人はいるものの、寺院以外の目的はなく、地域の発展にはつなげていない。また、第一次産業で生計を立てている人がほとんどであるが、今後ますますの少子高齢化により耕作放棄地が拡大しつつある。地域の交流機会を増やし、後継者問題について対処していくとともに、地域外からも担い手を確保することが課題となっている。
事業目的	市内外からの来訪者を増やし、地域の農作物等の魅力を伝えていくことによって雲岩寺地域の価値を"地面"から見直していき関係人口の創出を図るとともに、農産物の生産、行事等の参加を通じて地域の高齢者の生きがいづくりや世代間の交流を図ることを目的とする。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>構成員が一丸となり地域の行事への参加取り組みを実施する。</p> <p>①雲巖寺薪能を開催した(令和4年3月26日)</p> <p>②新たな特産品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生に企画・計画会議の段階から参加してもらい、新たな着眼点での商品開発を一緒に取り組んでもらうとともに、地域の魅力また課題について触れてもらうことを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。</li> </ul> <p>③農産物の生産による高齢者の生きがいづくり及び就労の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶畑手入れ作業、門松づくり</li> </ul> <p>④幅広い年齢層及び地域外住民とのコミュニケーション構築のための行事実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶摘み体験会(6月25日):新たに地域外からのボランティアを募り、体験を通じて地域の魅力に触れてもらい、今後の事業についても携わってもらった。</li> <li>・雲岩寺収穫祭※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業中止</li> <li>・門松づくり(12月18日)</li> </ul> <p>※大田原市ふるさと大使に事業に参加してもらうことで、話題性の確保、幅広い周知を行い、新たな人の流れを創出した。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①薪能の開催 ②新たな特産品の開発 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築	①薪能の開催 ②新たな特産品の開発 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築	①薪能の開催 ②新たな特産品の開発 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築		①薪能の開催 ②新たな特産品の開発 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築
事業費	1,111,000	1,031,000	1,031,000	3,173,000	721,700
市町支出金 (ソフト事業分)	750,000	750,000	750,000	2,250,000	0
うち県交付金	375,000	375,000	375,000	1,125,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	361,000	281,000	281,000	923,000	721,700

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuisishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	雲巖寺周辺地域活性化事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	750,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
寄付金	350,000	
協賛金	0	
繰越金	11,000	
計	1,111,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出资额		自主財源等	
			県交付金		
報償費	720,980	540,000	270,000	180,980	出演者謝礼
旅費	116,200	40,000	20,000	76,200	
印刷製本費	38,800	29,000	14,500	9,800	ポスター、チラシ等印刷費
広告費	2,695	2,000	1,000	695	
手数料	3,240	2,000	1,000	1,240	音響・照明設備設置料、ポスターデザイン料
保険料	5,000	3,000	1,500	2,000	傷害保険、行事保険
委託料	136,200	100,000	50,000	36,200	警備委託料
使用料及び賃借料	53,240	34,000	17,000	19,240	舞台、イス、機材運搬用トラック賃借料
繰越金	34,645			34,645	
計	1,111,000	750,000	375,000	361,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業
事業主体の名称	那須国古代ロマンプロジェクト
代表者の名称	佐藤 憲一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土853(湯津上商工会内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:湯津上地区における歴史的資産である「那須国造碑」「侍塚古墳群」の調査研究と観光地として整備することで歴史的資産を後世に遺し、地域の活性化を図ることを目的とする。</li> <li>設立年月日:平成30年4月7日</li> <li>構成員等:商工・観光団体の代表者、地域関係者、学識経験者、プロジェクトが認める者</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地区には国宝に指定されており日本三古碑の一つである「那須国造碑」や国史跡に指定され日本一美しい古墳と呼ばれている下侍塚古墳を中心とした「侍塚古墳群」などの歴史的資産を有するが、現状、地域人口の減少により、歴史的文化的の継承や資産の保全に手が回らず、後継者の育成や新たな担い手の確保が課題となっている。
事業目的	歴史的資産を有効に活用することで新たな人の流れを創出し、地域の賑わいを取り戻すきっかけを作る。地域の歴史的資産をテーマにした講演会やパネルディスカッションを行うことで、地域内住民に対しては、歴史的資産の魅力を再認識してもらい、また、歴史愛好家をはじめとした地域外からの来訪者に魅力を感じてもらうことで、新たな担い手の確保に努める。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①プロジェクトPR冊子の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の内容、スケジュール及び団体の活動内容についてPRを行った。</li> </ul> </li> <li>②事業PR活動(令和3年11月6日、7日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田原市産業文化祭時にブース出展し、パンフレット配布及びパネル展示によるPR活動を行った。</li> </ul> </li> <li>③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催(開催中止) <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を募り史跡の散策を行い、新聞折込等で地域外に周知を広げ、新たな人の流れを創出する予定であったが、まん延防止等重点措置指定のためやむを得ず開催を中止した。</li> </ul> </li> <li>④特別講演会の開催(開催中止) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年2月に市外から講師を招き、地域住民以外に地域外の歴史愛好家に対し、歴史的資産を紹介することで、地域の魅力を感じてもらうことを目指して開催の準備をしていたが、まん延防止等重点措置指定のためやむを得ず開催を中止した。</li> </ul> </li> <li>⑤「観光と考古学」パネルディスカッションの開催(開催中止) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年3月に特別講演会と同様に、市外から講師を招きパネルディスカッションを開催の準備をしていたが、まん延防止等重点措置指定のためやむを得ず開催を中止した。</li> </ul> </li> <li>⑥笠石神社例大祭スタンプラリーの開催(令和4年1月1日～3月31日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本一美しい古墳」をテーマに、笠石神社、風土記の丘湯津上資料館、古墳に縁のある飲食店を中心としたスタンプラリーを実施し、参加者への歴史的資産の浸透を目指した。飲食店への参加を促すことで、新たな客層の獲得を狙った。</li> </ul> </li> </ul> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の事業の反省を踏まえ、上記①～⑥を継続して実施する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2020年実績:1,343人/年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催 ④特別講演会の開催 ⑤「観光と考古学」パネルディスカッションの開催 ⑥笠石神社例大祭スタンプラリーの開催	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催 ④特別講演会の開催 ⑤「観光と考古学」パネルディスカッションの開催 ⑥笠石神社例大祭スタンプラリーの開催	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催 ④特別講演会の開催 ⑤「観光と考古学」パネルディスカッションの開催 ⑥笠石神社例大祭スタンプラリーの開催		①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催 ④特別講演会の開催 ⑤「観光と考古学」パネルディスカッションの開催 ⑥笠石神社例大祭スタンプラリーの開催
事業費	609,004	1,645,000	1,645,000	3,899,004	1,151,500
市町支出金(ソフト事業分)	346,000	1,000,000	1,000,000	2,346,000	0
うち県交付金	173,000	500,000	500,000	1,173,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	263,004	645,000	645,000	1,553,004	1,151,500

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	346,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
会費収入	183,000	会員会費
協賛金	80,000	湯津上地区の賛同者からの寄付
負担金収入	0	視察研修参加者負担金
雑収入	4	利息、会員寄付等
計	609,004	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	52,965	39,700	19,850	13,265	講演会、イベント消耗品
印刷製本費	163,350	122,100	61,050	41,250	ポスター・チラシ作成
通信運搬費	7,420	5,500	2,750	1,920	事業案内通知郵送料
手数料	1,430	1,000	500	430	振込手数料
広告費	33,000	24,700	12,350	8,300	新聞折込料
委託料	204,000	153,000	76,500	51,000	会場設営・音響設営・警備委託料
繰越金	146,839			146,839	講演会・事業案内機器購入
計	609,004	346,000	173,000	263,004	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	2021年おたわら丘ポタ&激ポタ
事業主体の名称	大田原サイクリング協会
代表者の名称	会長 前田 幸雄
事業主体の所在	大田原市美原1-13-4(RaChePi内)
事業主体の概要	<p>団体の目的: 自転車を活用したイベント等の開催をすることで、県内外からサイクリストを大田原市に集めることで地域の観光を盛り上げるとともに、自転車が安全で走りやすい環境の構築、他地域への情報発信及び交流を通じた地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日: 平成29年11月19日 ・構成員等: サイクリング愛好者等 16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は地元のプロサイクリングチームが練習コースにしている御亭山をはじめ那珂川沿岸などサイクリストにとって魅力が多い資源があるにも関わらず、サイクリストが通過するだけの「まち」とされてきた。平成27年度 of 全日本自転車競技選手権大会の開催をきっかけに、県内のサイクリングツーリズムへの取り組みや市主催のサイクリングイベントの開催と相まって多くのサイクリストが訪れるようになり、サイクリストを受け入れる態勢も少しずつ整ってきたところである。しかし、市主催のサイクリングイベント「おたわらエコポタ」や「Jフロンティア」事業が終了し、サイクリングイベントが少なくなってしまった。</p> <p>ポタリングイベントの開催を継続することで、リピーターとなるサイクリストの受け皿を作ること、また、大田原市に新たな人の流れをつくらせて交流を促進し、地域資源である大田原市の自然・人・食・文化を市内外に広く知ってもらい、地域の活性化及び関係人口の創出を図ることが重要である。</p>
事業目的	<p>ポタリングイベントを開催し、市内外に「自転車のまち」大田原のPRを行う。また、自転車で市内を周遊しながら地元のグルメを味わうことで、地域資源である「大田原の自然・人・文化」を知ってもらい、郷土愛を育むとともに、産業の振興及び各種スポーツ自転車イベントを通じたスポーツに触れる機会を提供する。また、市外からも立哨ボランティアを募集し、コース管理やエイド運営に携わってもらい一緒にイベントを作り上げていくことで、関係人口の創出を目指す。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】 「おたわら丘ポタ」の実施 272名参加 期日 令和3年11月14日(日) 会場 大田原市役所湯津上支所 内容 大田原市の隠れた絶景スポット「Nasu Farm Vlaage」や「ふれあいの丘」等を自転車で周遊し、自然の豊かさに触れ、グルメを味わうことで大田原市の魅力を再発見するためのポタリングイベントを開催した。</p> <p>①丘ポタファミリー25コース(約25km) 初心者向けコース ・大田原市役所湯津上支所→Nasu Farm Vlaage→道の駅 那須与一の郷→巻川サイクリングロード→大田原市役所湯津上支所(獲得標高195m)</p> <p>②丘ポタ43コース(約43km) ・大田原市役所湯津上支所→Nasu Farm Vlaage→道の駅 那須与一の郷→巻川サイクリングロード→ふれあいの丘→ながわ水遊園→片田交差点→大田原市役所湯津上支所(獲得標高443m)</p> <p>③丘ポタながわ53コース(約53km) ・大田原市役所湯津上支所→Nasu Farm Vlaage→道の駅 那須与一の郷→巻川サイクリングロード→ふれあいの丘→幕橋→那珂川沿い遊歩道→若点大橋→馬頭温泉郷→ながわ水遊園→片田交差点→大田原市役所湯津上支所(獲得標高531m)</p> <p>④激ポタ60コース(約59km) 上級者向けコース ・大田原市役所湯津上支所→Nasu Farm Vlaage→ラウンドアバウト交差点→汽車道→片田交差点→御亭山→雲巖寺→木佐美トンネル→ゴールデンドゥード→芭蕉公園→片田交差点→大田原市役所湯津上支所(獲得標高1,086m)</p> <p>・参加者の脚力に合わせた複数コースを設定することで、自転車初心者やファミリーでも参加しやすいポタリングイベントにするとともに、大田原市の地域資源である豊かな自然を体験できるコース設定とした。 ・エイドや運営に市外からのボランティアに参加してもらい、大田原市の「人」に触れて交流促進を図り関係人口を創出した。</p> <p>【令和4年度】 ・前年度の成果を踏まえ、参加するサイクリストの増加及びおもてなしの向上を図り、サイクリストに優しいまち大田原のPRを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2020年実績: 1,343人/年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	おたわら丘ポタ&激ポタの開催	おたわら丘ポタ&激ポタの開催	おたわら丘ポタ&激ポタの開催		おたわら丘ポタ&激ポタの開催
事業費	2,653,501	3,700,000	3,700,000	10,053,501	2,590,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	0
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,653,501	2,700,000	2,700,000	7,053,501	2,590,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusushin@city.ohatawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

<b>市町名</b>	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
<b>単位事業名</b>	2021年おおたわら丘ポタ&激ポタ	
<b>対象年度</b>	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
参加費	1,403,500	77名×6,000円、95名×5,500円、46名×5,000円、30名×4,000円、9名×3,500円、15名×2,500円
協賛金	250,000	15件
雑収入	1	
<b>計</b>	<b>2,653,501</b>	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	718,914	40,000	20,000	678,914	参加者記念品・感染症対策等衛生資材・エイド用資材・会場用資材
食糧費	765,772	190,000	95,000	575,772	参加者、スタッフエイド・昼食
印刷製本費	33,370	20,000	10,000	13,370	大会ポスター、案内用チラシ・ハガキ、大会プログラム印刷代
通信運搬費	46,540	20,000	10,000	26,540	参加者募集通知DM・参加証通知・ゼッケン等送料
手数料	96,065	10,000	5,000	86,065	道路使用許可申請手数料・エントリー手続手数料・廃棄物処分手数料・振込手数料
保険料	49,680	30,000	15,000	19,680	参加者、スタッフ保険料
委託料	319,200	230,000	115,000	89,200	警備業務・コース監修・写真映像撮影業務
使用料及び賃借料	524,360	390,000	195,000	134,360	会場使用料・会場資材レンタル料
備品購入費	99,600	70,000	35,000	29,600	コース管理用機材
<b>計</b>	<b>2,653,501</b>	<b>1,000,000</b>	<b>500,000</b>	<b>1,653,501</b>	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地元再発見！生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP～大田原ファン＆サポーター大募集～事業
事業主体の名称	大田原OCP運営委員会
代表者の名称	佐々木 豊
事業主体の所在	那須塩原市野間472-28
事業主体の概要	<p>・団体の目的: コーヒーの愛好家のためのイベント「OCP」(=Ohtawara Coffee Picnic)の準備、運営と参加者相互の親睦を深める活動からスタートした団体であるが、コーヒーに限らず様々なテーマのイベント等による大田原市を知ってもらい、好きになってもらうきっかけ作り、また地域の住民が関われる特産品づくり等を通じて地域の活力を高め、魅力ある大田原のまちづくりに資することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 2018年1月15日</p> <p>・構成員等: 役員3名、会員2名、ほか学生ボランティア等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須地区は歴史的にも重要な地域であり、大田原市は歴史が住みやすさを証明していると言える地域であるが、アピールの下しさもあり、なかなか外にその魅力が伝わらない。そもそも地域の住民自身が本当にこの地域の魅力を理解しきれているかも疑問である。地域で育った子どもが都会に出て行くことによる損失も大きいものであるが、その背景には地域の魅力や文化に対する理解・興味の不足があると感じている。その問題の解決のために、コーヒーマップの作成や御朱印巡りといったイベントを組み合わせることで、より多くの客層に地域の魅力と歴史的文化を継承する。</p>
事業目的	<p>コーヒーマップの作成や御朱印巡りといったイベントを組み合わせることで、より多くの客層に地域の魅力と歴史的文化を継承する。御朱印巡りには下侍塚古墳の形を三分割した印を採用する等の工夫をすることで、地域外の歴史愛好家の参加を促す。事業にあたっては、地域内外からボランティアを募り、一緒に作り上げていくことで、今後も継続した地域の関りを創出する。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>①「大田原つながりコーヒーMAP」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒー店の他、歴史・文化スポットを盛り込み、コーヒーを切り口にした歴史・文化を紹介した。</li> </ul> <p>②歴史・文化周遊イベントの開催(令和4年1月1日～3月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠石神社・威徳院・光丸山を巡る周遊イベントを開催した。下侍塚古墳をモチーフにした印を使用することで、楽しみながら地域の歴史・文化に触れてもらった。事前に動画配信を行い、事業を周知するほか、地域外からのボランティアを募り、一緒に作り上げていくことで、今後も継続した地域の関りを創出した。</li> </ul> <p>③光丸山法輪寺で歴史サロンの開催(令和3年12月26日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎの子どもの未来創造大学特別体験講座(歴史コース)内において、光丸山法輪寺で参加者に昼食(古墳カレー)をふるまいながら、市外から講師を招き歴史サロンを開催した。講師には今回の事業を通じて、引き続き地域に関わりを持ってもらった。</li> </ul> <p>④佐良土小学校に講師を招き歴史サロンを開催した。(令和4年1月14日)</p> <p>⑤護摩焚き(令和4年2月1日)</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①コーヒーMAPの作成 ②歴史・文化周遊イベントの開催 ③歴史サロンの開催 ④護摩焚き	①コーヒーMAPの改定 ②歴史・文化周遊イベントの開催 ③歴史サロンの開催 ④護摩焚き	①コーヒーMAPの改定 ②歴史・文化周遊イベントの開催 ③歴史サロンの開催 ④護摩焚き		①コーヒーMAPの改定 ②歴史・文化周遊イベントの開催 ③歴史サロンの開催 ④護摩焚き
事業費	927,071	1,066,000	1,066,000	3,059,071	746,200
市町支出金 (ソフト事業分)	695,000	799,000	799,000	2,293,000	0
うち県交付金	347,500	399,500	399,500	1,146,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	232,071	267,000	267,000	766,071	746,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
連絡先	電話 0287-23-8793
	FAX 0287-23-8748
	E-mail seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp



## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地元再発見！生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP～大田原ファン＆サポーター大募集～事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	695,000	
協賛金	129,000	
繰越金	57,995	
自己資金	45,076	
計	927,071	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	20,000	15,000	7,500	5,000	講師謝礼
印刷製本費	741,400	556,000	278,000	185,400	マップ作成・周遊イベント台紙作成
広告費	75,691	56,600	28,300	19,091	新聞折込
使用料及び賃借料	20,000	15,000	7,500	5,000	サロン用店舗使用料
備品購入費	69,980	52,400	26,200	17,580	動画配信用機材
計	927,071	695,000	347,500	232,071	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	湯津上地区天狗王国まつり実施事業
事業主体の名称	湯津上地区天狗王国まつり実行委員会
代表者の名称	会長 越沼 哲士
事業主体の所在	大田原市佐良土853
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的: 歴史ある湯津上地区の祭りを積極的に実施し、市民相互のふれあいや郷土愛を育むことにより地域振興を図る。</li> <li>設立年月日: 平成元年10月9日</li> <li>構成員等: 湯津上商工会会長及び副会長、湯津上地区区長会長、湯津上地区自治公民館連絡協議会長、湯津上商工会女性部長、大田原市観光協会会長、大田原市消防団長 等 16名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地域は大田原市の南部に位置し、国宝である那須国造碑や、国指定史跡であり日本一美しい古墳と呼ばれる下侍塚古墳など、歴史文化遺産を数多く有する地域であるが、対外的に知名度が不足しているという現状や、少子高齢化により人口と自営事業者が減少しており、地域住民間の繋がりが弱まりつつあるという課題がある。今後も歴史文化の継承及び地域活性化のため、地域人口の流出の抑制及び地域外からの担い手の確保も課題となっている。
事業目的	祭りの開催を通して、郷土愛を育むとともに地域住民間の交流を活性化させ、地域コミュニティの維持、強化を図ることで、後継者を育てるとともに、市外事業者へ出店を依頼し一緒に祭りを作り上げ、新たな人の流れ、関りを創出する。事業周知については、ラジオCMや新聞広告を検討しており、地域外からの来場者数の増加を狙い、祭りの賑わいや歴史文化遺産等、地域の魅力を感じてもらふことで、担い手の獲得を目指す。
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>【令和3年度】</p> <p>1 天狗王国まつり春まつりの開催 (1)日時: 3月6日(日) (2)会場: 栃木県なかがわ水遊園特設会場(大田原市湯津上地区)</p> <p>(3)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①まるごとマルシェ大田原</li> <li>・市内及び市外事業者(那須塩原、那珂川町、宇都宮市、那須烏山市、下野市、益子町等)による物販</li> <li>②大田原コーヒービクニック</li> <li>・市内に人気の焙煎所やカフェが多いことに着目し、「コーヒーのまち大田原」をPRすることによる新たなまちづくりに取り組んでいるが、その活動の一環として音楽を楽しみながら市内及び市外事業者が誇る珈琲の飲み比べができるイベントを開催した。</li> <li>③消防広場</li> <li>・地元消防団及び消防署による模擬消火訓練および火事場体験スペース設置した。</li> <li>④那珂川大感謝祭</li> <li>・日本屈指の清流である那珂川の魅力を広くPRするために、栃木県なかがわ水遊園内にてギャラリー展示やプレミアムヤシオマス試食会を開催した。</li> <li>⑤ちよこつとより道大田笑、その他各種団体による観光PR活動</li> <li>・那須古代ロマンプロジェクトと連携した湯津上地域に眠る歴史文化遺産のPR</li> <li>・大田原市観光協会や那須地域元気アップ協議会等による特産品PR及び市観光情報や八清定住自立圏及び移住定住情報を提供した。</li> <li>⑥フリーマーケット</li> <li>※新型コロナウイルス感染状況により中止</li> </ul> <p>【令和4年度】</p> <p>令和3年度の成果を踏まえ、新たな観光PR素材や他市町協力事業者を増やし、更なる来訪者の増加及び関係人口の創出に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 6,500件(5年累計)【2020年累計(実績) 3,300件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天狗王国まつり春まつり実施</li> <li>①まるごとマルシェ大田原</li> <li>②大田原コーヒービクニック</li> <li>③消防広場</li> <li>④那珂川大感謝祭</li> <li>⑤ちよこつとより道大田笑、その他各種団体による観光PR活動</li> <li>⑥フリーマーケット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天狗王国まつり春まつり実施</li> <li>①まるごとマルシェ大田原</li> <li>②大田原コーヒービクニック</li> <li>③消防広場</li> <li>④那珂川大感謝祭</li> <li>⑤ちよこつとより道大田笑、その他各種団体による観光PR活動</li> <li>⑥フリーマーケット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天狗王国まつり春まつり実施</li> <li>①まるごとマルシェ大田原</li> <li>②大田原コーヒービクニック</li> <li>③消防広場</li> <li>④那珂川大感謝祭</li> <li>⑤ちよこつとより道大田笑、その他各種団体による観光PR活動</li> <li>⑥フリーマーケット</li> </ul>		
事業費	3,590,586	5,300,000	5,300,000	14,190,586	5,300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,150,000	3,450,000	3,450,000	10,050,000	3,450,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	440,586	1,850,000	1,850,000	4,140,586	1,850,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	湯津上地区天狗王国まつり実施事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	3,150,000	湯津上地区天狗王国まつり補助金
協賛金	40,000	
寄付金	100,000	
テナント収益金	259,000	大田原グルメ運営協力金
雑収入	11	預金利息
繰越金	41,575	
計	3,590,586	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	19,046		0	19,046	謝礼、賞品諸費
消耗品費	391,570	370,000	50,000	21,570	事務用品
食糧費	45,803		0	45,803	弁当、飲み物代
通信運搬費	19,388	19,000	0	388	事業案内通知郵送料等
広告費	396,000	380,000	50,000	16,000	新聞広告、CM等
手数料	1,760	1,000	0	760	振込手数料
委託料	1,175,880	1,100,000	400,000	75,880	音響制作・運営(553,000円)会場設営・撤収(439,870円)
使用料及び賃借料	1,313,820	1,280,000	500,000	33,820	会場機材(ステージ・発電機・テーブル等)レンタル
繰越金	227,319		0	227,319	
計	3,590,586	3,150,000	1,000,000	440,586	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業
事業主体の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会
代表者の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員長 津久井 富雄
事業主体の所在	大田原市本町1-4-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術の美しさ楽しさ、面白さに対する市民の関心を喚起し、ひいては地域文化の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成9年5月13日</p> <p>・構成員等:会長1名、副会長2名、委員6名、監事2名、オルガナイザー1名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>両郷地区は少子化、若い世代の地域外への転出増加により急速に過疎化が進んでいる。中学校の統廃合により両郷地区内の廃校施設に大田原市芸術文化研究所を設置し、芸術活動を実施している。この活動を通して新しい人の流れを作り、地域の活性化につながっているため、引き続き地域外から人を呼び込み、地域住民は地域の価値、良さを認識し、地域を守り支える活動が展開されることが大切である。</p>
事業目的	<p>地域住民の他、広く市外の住民へ芸術鑑賞の機会を提供し、芸術の美しさ、面白さに対する関心を喚起する。芸術文化の発信地としての存在を高め、市内外から人を呼び込み、両郷地区の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>①公開制作の実施 期日:令和3(2021)年8月9日(月)~8月28日(土) ・県内から新たに作家(彫刻家・画家)を招へいし、黒羽商店街でシャッターアート、芸術文化研究所で木彫、テラコッタの公開制作を行った。空き店舗のシャッターを活用したシャッターアートはいつでも鑑賞可能で、芸術文化研究所へ人の流れをつくり、両郷地域の活性化につながるものであった。</p> <p>②展覧会の開催 期日:令和3(2021)年9月6日(月)~10月20日(水) 場所:大田原市役所1階ロビー展示ケース ・①の公開制作において制作された作品を展示した。あわせて、制作過程や作品をホームページに掲載し、広く事業周知を行った。県内小中学校、高等学校への周知、作家ゆかりの宇都宮大学や文星芸術大学のほか県内外の大学等に通知し、芸術活動を通じて当該地域の知名度の向上と事業の周知を行った。</p> <p>③イベントの実施 期日:令和3(2021)年8月22日(日) ・①の招へい作家等が講師となり、芸術文化研究所においてワークショップを開催した。作家との交流の場を提供するとともに、地域への関心をもってもらい関係人口の創出に寄与した。</p> <p>【令和4年度】</p> <p>・令和3年度の成果を踏まえ、上記①~③を実施する。新進気鋭の作家を招へいし、公開制作期間中にも展覧会を実施して作家の作品も鑑賞してもらい、より理解を深められるよう実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2020年実績:1,343人/年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①公開制作 ②展覧会 ③イベント	①公開制作 ②展覧会 ③イベント	①公開制作 ②展覧会 ③イベント		①公開制作 ②展覧会 ③イベント
事業費	1,950,859	2,761,000	2,761,000	7,472,859	2,761,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	950,859	1,761,000	1,761,000	4,472,859	1,761,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会運営費補助金
繰越金	1,260,824	前年度繰越金
雑収入	500,176	街かど美術館から、預金利子等
計	2,761,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	300,000			300,000	作家への報酬
旅費	17,000			17,000	作家の旅費
消耗品費	764,000	430,000	215,000	334,000	制作用、滞在用消耗品
食糧費	294,000			294,000	食材代、食事代、お茶代
印刷製本費	446,000	400,000	200,000	46,000	チラシ代、ポスター、作品集
通信運搬費	71,000	40,000	20,000	31,000	事業案内等通知郵送料
手数料	212,000	70,000	35,000	142,000	広報折込、図録翻訳、振込手数料
保険料	41,000	10,000	5,000	31,000	損害保険料
委託料	180,000			180,000	製材委託、HP更新委託料
使用料	136,000			136,000	システム使用料
原材料費	200,000	50,000	25,000	150,000	制作物材料費
予備費	100,000			100,000	
計	2,761,000	1,000,000	500,000	1,761,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合